



各位

2026 年 4 月 28 日

地球温暖化で深刻化する農業課題の解決へ

奈良女子大学・高塚大知准教授の「タカマクロン」開発・事業化プロジェクトが第3回KSAC-GAP ファンドに採択

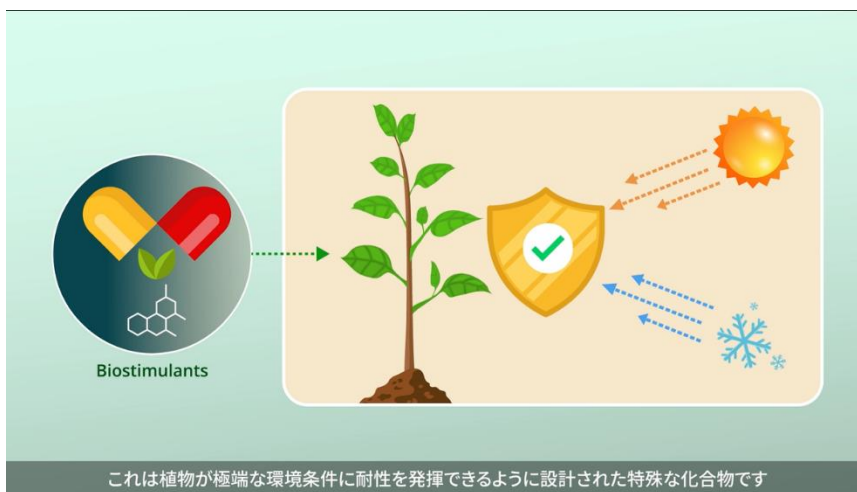
奈良女子大学研究院自然科学系の高塚大知准教授が提案した「テーラーメイド対応型植物バイオスティミュラント※コレクション『タカマクロン』の開発と事業化」が、第3回 KSAC-GAP ファンドに採択されました。本プロジェクトは、地球温暖化に起因する農作物の減収、異常な早咲きに伴う品質低下といった現代農業の深刻な課題の解決を目指すものであり、大学発スタートアップとしての社会実装が期待されています。

<https://ksac.site/ja/wp-content/themes/ksac/pdf/ksac-gap-result-3rd.pdf>

本プロジェクトでは、高塚准教授らがもつ分子構造改変可能な双性イオン液体群の「高温環境下での植物の生育持続」や「成長の人為的遅滞」といった作用を活用し、植物種ごとに最適な製品選択が可能なバイオスティミュラントコレクションの創出を目指します。さらに、特定の作物種・品種、地域、栽培方法に応じて効果を最大化する「テーラーメイド・バイオスティミュラント」技術を開発し、気候変動時代の農業に新たな選択肢を提供することを目指します。

研究の概要をわかりやすく解説したアニメーションもご覧ください。（ナレーションが英語になっていますが、日本語の字幕があります）

----- <https://youtu.be/f2rnAieU-r0>



PRESS RELEASE

KSAC(京阪神スタートアップアカデミア・コアリション)は、関西圏の大学の研究成果を基盤に、大学発スタートアップの創出と成長を支援する枠組みです。KSAC-GAPファンドは、大学の研究成果と事業化の間にあるギャップを埋めるため、資金提供に加えて起業支援人材による伴走支援や外部機関連携などを行い、研究成果の社会実装を後押ししています。

<https://ksac.site/>

奈良国立大学機構では、大学の研究成果の社会実装を推進するため、スタートアップ創出・成長支援を全力で進めています。今後も本学の優れた研究シーズの事業化を通じて、社会課題の解決と地域・産業の発展に貢献してまいります。

※肥料のように「栄養を与える」のではなく、植物自身の生理機能を活性化してストレス耐性・生育・収量を高める資材の総称

(機関窓口)

奈良女子大学 総務課 広報・基金係

Tel: 0742-20-3220

e-mail: somu02@jimu.nara-wu.ac.jp

※お問い合わせは、なるべくE-mailにてお願いいたします

以上